

第2回加西市総合計画審議会 会議録

会議の名称	第2回加西市総合計画審議会
開催日時	平成28年2月18日(木)午後7時～9時
開催場所	加西市役所 1階 多目的ホール
議長の氏名 (会長)	牧瀬 稔
出席及び欠席委員の氏名	<p><出席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大藤 友也 ・金川 雅則 ・釜坂 明廣 ・下江 一将 ・谷勝 公代 ・常峰 八郎 ・西脇 亜李沙 ・濱本 泰秀 ・村上 尚美 ・吉田 廣 ・牧瀬 稔 <p><欠席委員></p> <p>なし</p>
出席した事務局職員の氏名及びその職名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事 一幡 孝明 ・ふるさと創造部長 西岡 義信 ・ふるさと創造部人口増政策課長 千石 剛 ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 小菊 啓靖 ・ふるさと創造部人口増政策課主任 小林 和敏 ・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員 小山 映
1 議事	<p>(1) パブリック・コメントの実施結果について</p> <p>(2) 都市像について</p> <p>(3) 後期基本計画(案)について</p> <p>(4) 答申(案)について</p>
2 会議資料	第5次加西市総合計画 後期基本計画(案)ほか
3 会議の経過	別紙「第2回加西市総合計画審議会・会議の経過」のとおり

(別紙) 第2回加西市総合計画審議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
会長	<p>開会</p> <p>1 会長あいさつ 答申に向けて、活発なご議論を委員の皆様にはよろしくお願ひしたい。</p> <p>2 委員紹介</p> <p>3 議事</p> <p>(1) パブリック・コメントの実施結果について 事務局から説明</p>
会長 事務局	<p>【質疑応答等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パブリック・コメントの状況としての評価はどんなところか。 ・ 普段のパブコメの状況と比較すると、2件提案いただいたことはありがたい。
副会長	<p>(2) 都市像について 事務局から説明</p> <p>【質疑応答等】</p>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化研究会(中小企業診断士)のアンケート(707名)による加西市のイメージは、知名度が低く、また、まちづくりへの市民の関心度も今一つであるとの感があり、且つおもてなしは低いとの評価である。 ・ 加西に帰って来ようとしても、人口が減って商売で生計が立てにくいケース、十分な教育が受けられるかとの不安、児童数や通学路の不審者の問題、交通の便の問題などが課題となっている。 ・ 豊かな自然を感じているが、豊かな自然や景観を活用した賑わう加西づくりをしないといけない。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転出者アンケートで、よくなかった部分はどうか。 ・ 加西に住んで不満だったこととして、交通アクセスが不便との意見が一番多く、上下水道料金、買い物の不便さと続いている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 便利な田舎ではないという結果だと思う。別案にある「ミライナカ かさい」は面白い。柱を何にするかだが、委員アンケートは内輪だけの話のように感じる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て、福祉の不満は少なく、教育、高齢者の期待が出ていないと思われる。きれいな事ではなく現実をしっかり見ないといけない。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社(加東市)には幹線道路が通り国の出先があるが、175号線からはずれている加西はどうするのか課題である。 ・ 加西のまちづくりには、交通は都会のようにはできにくいので、交通+生きがい等の工夫を考えるとよい。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加西の娘さんが夫を連れて帰る、都市からの移住の2パターンを考えるとよい。 ・ 多くの方が加西に働きに来ているが、魅力の情報発信が不足していると思う。 ・ めざす都市像は今の状況とは違うものである。未来をどう変えていくかである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の中で、自分の暮らしを創っていつているが、ビジョンをかなえられるところだと思う。加西は、人の思いやいろんな人がたくさんある中で暮らしていけるので、可能性を感じる。夢を見れるところだと可能性を感じたから加西に来た。 ・ 暮らしに農業、歴史など多様なところを組み合わせることができ、未来に向かってやっしていける印象や可能性が感じられる「ミライナカ」は、前向きなのでよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇仁地区で新規居住地を作ったところ、田舎過ぎる場所にも関わらず、中心市街地の北条からも入居者があった。地区でアンケートを取っているが、土地がないとの回答もあるので、ベルデしもさのような住宅地整備を考えてほしい。 ・ 外から来る若い人に、何か光が見えてくるようにしたい。 ・ 隣の市川町瀬加地区の奥の方にオーガニック住宅が5軒ほど集まっているので、

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇仁の話が気持ちよになると、こんなに豊かな暮らしができることをどんどん発信して1つ2つ増やしていくような地道な努力の取組みをするとよい。 ・ 教育の充実、子育ての支援+何かないといけない。人生最後のステージのことも考えるといいのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老後とか教育に特化するの、都市像としてどうかと思う。もう少し、幅広く捉えた方がよいと思う。全住民が対象となるようにした方がよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地の値段は、どれくらいするのか。 ・ 地価は市街化調整区域で1万円強/㎡、市街化区域だと5~6万円/㎡と思われる。 ・ 水道料金も安くなっており、北播磨5市1町では安い方から3番目になっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てしやすくなっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマを考えないといけない。田舎はいなかとして、ミライナカとするのはよい。加西に住んでいる人にも響きやすい。ネットでも検索してもらいやすいテーマではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上水道料金は宣伝が下手なので、子育ても宣伝をもっと上手にしたい。逆転の発想で堂々と田舎で背伸びしないのがよい。ミライナカは若い人にはいいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミライナカをネットで検索すると9件出てきたが、自治体での使用例はないようだ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加西市以外の活動が盛んなコミュニティの協議会と交流しており、芦屋市の翠ヶ丘地区から交流に来てもらって、楽しいところとの話を聞いている。住んでみようという人も出てくると思われるので、交流先を増やしたいが、他市町の先進的な協議会等を市の方で紹介してもらえるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な団体の活動はある程度把握しているので、相談いただければ随時行う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市像としては、別案①、案1あたりがよいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人の発想を大切に「ミライナカかさい」でよい。田舎は変らないと思う。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市像はインパクトがあり、開放的な加西のイメージには、ミライナカはよい。多様な暮らし「未来の田舎(ミライナカ)」かさい、とするのはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田舎でいろいろなあなたの夢が実現する可能性があるというイメージである。 ・ ミライナカとするなら、例えばWi-Fiがどこでも使えるとかコミバスをタブレット端末で呼べるとか、斬新なインパクトある施策とセットで展開できるとよい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度以降、何かシンボルタワー的な事業に取り組むことは可能か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画に具体的な事業を織り込むのは困難であるが、総合計画の下の実施計画のなかでスタイルとして示していくことは可能である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミライナカという言葉に、若者は可能性を感じる。元々ある風土や文化を大切にしたいので、日本語、漢字を使うことは大事で組み合わせた表現はいいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加西市が未来の田舎として、地方が未来を先取りした形になればと思う。
	<p>(3) 後期基本計画(案)について 事務局から説明</p>
副会長	<p>〔質疑応答等〕</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表紙にある「加西の良さを活かした元気力の追求」は変えることができるのか。 ・ 当初計画のまま変更することは考えていない。 ・ 人口推計や財政収支は、当初の数字がどう動いたかを分かるようにしてもらいたい。推進体制の図の議会との意見交換、住民等の参画について教えてほしい。 ・ 議会との意見交換は事務局での対応としており、推進体制の91ページの図は正確ではないので、審議会の位置づけが正しくわかるよう修正する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画の3か年の実施計画として、行財政改革プランを毎年見直しながら実行しているが、その評価検証結果は、住民参加手法としてパブコメを行っている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高砂市では、総合計画審議会と議会とで意見交換を行っている。進捗管理は、総合計画の内容がわかった住民等が参画するPDCAをしっかりとやるべきである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域創生戦略は外部委員による評価検証が必要なので、今後は、地域創生戦略を含む総合計画の評価検証のため、市民参画を組み込んだ体制を予定している。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会が2回と少なく、回数を重ねた上で答申とするのが本筋である。

副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議論を丁寧に尽くして、答申いただくのが本来だと十分承知しており、このため2回の会議以外に、委員アンケートや意見照会のご協力をお願いして補完するようにしたことをご理解いただきたい。 ・ 土地利用の図は、都市計画マスタープランからの引用になっている。変更する必要がある時はどうなるのか。 ・ 都市計画は5年毎に見直すことにしており、前回23年度に策定しているのので、28年度に改定されることになるが、誤解を招かないように表現を改めたい。 ・ 総合計画は大元の計画でいわば憲法みたいなものなので、時間をかけ審議会は責任を持って議論できるようにしないといけない。 ・ 人口は、校区別の人口を検証できるようにしないと、まちづくりはできない。 ・ 92ページの進捗管理のところ、地方版総合戦略の進捗管理の記述を追記いただきたい。合わせて審議会のメンバーも何人か加わる形での評価検証体制をつくることを検討願いたい。 	
事務局		
委員		
会長		
副会長		
	<p>(4) 答申(案)について 事務局から説明</p>	
会長	<p>【質疑応答等】</p>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の構成は、2を1にして以下、3、4、5の順にして、組み立てるのがよい。 ・ 元の1は「とかいなか」を「ミライナカ」に直していく流れにするのはどうか。 ・ 若者がなぜ定着しないか、詳しく調査することをいれておく必要がある。 ・ P D C Aの中で評価検証をしっかりやることを書き加えるべきである。 ・ 閉鎖性との指摘のある加西の風土で変えないといけないところを書くべきである。 ・ 「多様な暮らし」という言葉は、キーワードになるので入れていく。 ・ 審議会は時間と期間をかけてやってほしいことも書き入れてほしい。 ・ 多くの会議に当てはまることでもあり、考えてほしい。 ・ 加西の魅力の情報発信のところは、積極的に等を付け加えるのがよい。 ・ 2、3、4、5の順番を繰り上げて1~4と続けた後、5のところは、「1~4を実現するため、加西市は多様なところを担保しつつ未来を創造する必要がある」というふうにする。そして元々の1のところを活用して加西の良さの文章につなぐ。 ・ その後、未来の田舎のリーディングプロジェクトを実施することにする。 ・ 担保は、確実に保証するという意味だと思う。加西の魅力を十分使って生き生きとした暮らしができることが伝わるようにする。また「蓄積ある農業」という表現は、わかりにくい。今の時代、グローバルに開かれたという視点も入れて欲しい。 ・ 蓄積ある農業のところ、魅力ある農業の取組み、グローバルに開かれたまちとかに直すのがよい。 ・ 特産の農産物とか子育てをすることに愛着と誇りを、という言葉は残したい。 ・ 総合計画に対する答申なので、次回の審議会のあり方については会議録に記載されているため、答申書に会議録を添付する対応とさせていただくのはどうか。 ・ 議事録とかでなく、答申書でわかるようにすべきである。 ・ 外部委員の評価検証のことは、計画のP92の本文にも入れるようにする。 ・ 審議会のあり方やP D C A等については、付帯意見とすることは可能か。 ・ 審議会運営等の関係は、答申書の付帯意見として整理させていただきたい。 ・ 答申文の詳細については会長に一任いただき、議論を踏まえた調整をさせていただきたい。(一同異議なし) 	
副会長		
会長		
委員		
副会長		
会長		
委員		
事務局		
委員		
会長		
事務局		
会長		
副会長		<p>閉会(副会長あいさつ)</p> <p>会長のもと、委員の皆様のご協力をいただき、答申をまとめることができたことにお礼申し上げます。兵庫県知事から誇りの話を聞いたことがあるが、市民が誇りを持って取り組んでいくことが大切だと思うので、委員の皆様もそれぞれの立場でのご協力を引き続きよろしく願いたい。</p>